

つきなみ旅

2025

2月22日^土

13:30スタート

受付開始
13:00 -

つきなみ旅エクスカージョンプログラム vol.5

放置竹林の竹を利用した「三千年の土づくり」

乳酸菌効果で注目されている土壌改良剤「竹パウダー」を使った酒米で醸造、日本酒「神力」が試飲できる！

「新酒と甘酒が楽しめる酒蔵見学体験」

出来立ての「神力」を
試飲できます。



参加費

2000円 (ドライバーの方は1000円)

会場

玉水酒造合資会社

みやま市高田町舞鶴 214-1

催行者

玉水酒造合資会社

ご予約
お問合せ

みやまブランディング推進委員会
〒835-0023 みやま市瀬高町小川 5 (みやま市商工観光課)
申込受付 2月6日(木) 8:30~
TEL 0944-64-1523



プログラム

「新酒と甘酒が楽しめる酒蔵見学体験」
詳しくは裏面をご参照ください。



放置竹林の竹を利用した「三千年の土づくり」

乳酸菌効果で注目されている

土壌改良剤「竹パウダー」を使った酒米で醸造、

日本酒「神力」が試飲できる！

「新酒と甘酒が楽しめる酒蔵見学体験」

日本酒は発酵文化の一つで、古くから神様に捧げる特別な供物として豊穰祈願などの神事に用いられ、米作りや醸造技術の発展などとともに進化してきました。みやま市は、以前、矢部川の伏流水で仕込んだ日本酒造りが盛んで、日本酒の蔵が30件以上ある時代もありました。今回は、創業145年を越える酒蔵の中を5代目蔵元に案内して頂いた後、製造工程や、発酵の何が体に良いかなどを学びます。今月初めの試みで、乳酸菌等による効果がある土壌改良剤「竹パウダー」を使った地元の酒米で醸造された日本酒「神力」と、甘酒を試飲していただきます。その後、お土産として持ち帰る甘酒をご自分で瓶詰めしていただきます。甘酒は造りたてを味わってもらうため、添加物の使用や加熱処理を行っておりません。完成後は、できるだけ早めに飲んで、生きている菌が造り出す旨味をお楽しみください。

プログラム

13時00分 受付開始

13時30分 プログラム開始

蔵見学

14時00分 甘酒造りの説明、瓶詰め体験

15時00分 アンケート記入 終了

開催日 令和7年2月22日(土)

時間 13時30分スタート(受付開始13時より)

会場 玉水酒造合資会社 みやま市高田町舞鶴24-1

参加料金 2000円(ドライバーの方は1000円)

定員 定員15名(最少催行10名)

お土産 体験で造った甘酒(500ml)

※試飲希望者は必ずハンドルキーパーの確保をお願いします。



くらし調う、
みやま有明。

甘酒は、稲作漁労文化を もたらした海人族の酒？

つきなみ旅連載コラム vol.3

お酒は、祭りで神様に奉納する神饌として、最上段の真ん中に置かれます。同時に、神主さんが読む祝詞について「御飯、御酒、御餅を始めて種々の物を～」と謳われます。また、古式にのっとった神饌には、飯や酒、餅に加え白米、神麴と小桶に入った水も献じられます。これは、神主が本殿に籠り、米と麴と水で甘酒(一夜酒)をつくり奉納し、宮座の直会で分けて飲まれていました。

有明文化圏の山門のクニは、長江下流域から海を渡った海人族によってもたらされた稲作漁労文化のまほろばの地でありました。古代の古代、この地に稲作と共に伝わって来た発酵文化、その中でもお酒はお祭りと共に日本の精神文化の中心をなしてきました。

また、室町時代には「酒に明徳の誉れあり、しかも百薬の銘を献ず」と謳われています。科学的にも、火入れをしていない生の甘酒には、体内でつくることができず必ず食べ物から補わなくてはならない9種類の必須アミノ酸がすべて入っていることがわかっています。すなわち、人体の20%を占めるタンパク質を構成し、「生命の源」とも呼ばれる「アミノ酸」が入っており、免疫力を上げ丈夫な身体づくりをしてくれる飲み物なのです。また、日本酒が百薬と謳われたのも、生酒には同様の効果があるからかもしれません。

今回のエクスカッション(愉しみながらくらしを学ぶ)では、甘酒(海人族酒)を通して、くらしを調えることを愉しみながら学びます。



ブランディングアドバイザー
福井 隆

東京農工大学大学院客員教授
地域生存支援LLP代表
「地域で生きる、希望をつくる」事業化支援ファシリテーター

誇り高き地域の歴史と伝統

筑後乃国阿蘇神社 海津御田植祭

みやま市高田町海津に鎮座する筑後乃国阿蘇神社は、古代から続く肥後国一宮阿蘇大社ともつながりが深く、その歴史は南北朝時代までさかのぼります。

このおよそ690年の歴史を持つ筑後乃国阿蘇神社で、毎年3月の第1日曜日に行われる神事、「御田植祭(市指定無形民俗文化財)」は豊作祈願のため興ったといわれており、初春からの心構えに始まり、耕地・種まき・苗作り・早乙女の田植えと秋の五穀豊穰を祈りながら、子供たちや氏子衆がそれぞれの役を地域独自の掛け合いや田植え歌で面白可笑しく演じる伝統行事です。

さらには、筑後乃国阿蘇神社に縁の深い刀剣蛭丸が新たに復元・奉納され、「令和の蛭丸」として御田植祭にてこの度、初展示されます。

この機会にぜひ、ご覧ください！



日時 令和7年3月2日(日)
13:00頃 海津茂出地区より参進
13:30頃 阿蘇神社到着後 神事開始
14:00頃 境内にて子供たちと勤める奉納神事
場所 筑後乃国阿蘇神社(みやま市高田町海津1642)